

第326号

基本理念

我々社会福祉法人清心福祉会職員は
「敬天愛人」の言葉を仰ぎ 奉仕の精神 慈愛の心を育み
天から与えられた役割を果たすべく
社会福祉事業で平和な社会に向けて
貢献していきます

さつき
皐月

ホームでの暮らしのご意見、
ご要望があれば、生活相談課
の濱村・荒井・松浦・福島まで
ご相談ください。できる限り
ご希望に添いたいと職員一同
考えております。また、利用者の
皆様は、人生の先輩として、
私たちの相談にも乗ってくだ
さいね。

「皐月（さつき）」

五月の空が気持ちよく晴れ渡っています。五月は緑が美しく、気候としても一年の中でもっとも過ごしやすい清々しい季節です。街路樹のハナミズキが咲き誇り、ホーム正面の滝山にはヤマボウシの花がちらほら見えます。心地よい風が吹き、薄手の長袖シャツがちょうど良くいらいでしょうか。街や公園はたくさんの人たちで賑わっています。ファミリーマイホームでも「春のバスハイク」が始まります。今年はどこに行くのでしょうか。ありきたりの場所ですとみなさんに飽きられてしまいますので、担当の職員たちが作戦会議をしている最中です。楽しみにお待ちくださいね。

さて、今月のうたは「こいのぼり」です。最近では大きな鯉のぼりを見ることがめっきり減りましたよね。先日秩父に出かけたとき、農家の庭先に巨大な鯉のぼりが掲げられているのを見まして、嬉しい気持ちになりました。元氣よく歌いましょう

五月を皐月というようになった由来は、田植えをする月だから、早苗月（さなえつき）と言っていたものを略して「サツキ」と言うようになったようです。筆者はつくり植物のサツキが咲くからだと思います。



「運動会」

みなさん、運動会といたら何月を想像しますか。昭和生まれの筆者はもちろん十月の「体育の日」です。利用者のみなさんも同じだと思いますが、近年は五月に行われていきます。その理由は幾つかあるようでして、「気候が安定している」と「早くクラスのみんなが仲良くなる」といふ狙いがあるようです。ではなぜ今まで十月十日（体育の日）だったのかというと、一九六四年の東京オリンピックの開会式にちなんでいたようです。もちろんみなさんはご存知でしたよね。



「八十八夜」

今年の八十八夜は五月一日です。八十八夜は「気候が安定し農作業に本腰を入れる目安の日」として認識をされています。「茶摘み」のイメージが強いのですが、「米」という字を分解すると八十八になるといふことから「農業にとつて縁起のいい吉日」と考えられ特別な日とされてきました。八十八夜に摘まれたお茶を飲むと、その年は無病息災でいられる縁起物とされてきました。お茶には神秘的な力が込められているようです。みなさんもお茶をたくさん飲みましょう。



こいのぼり

② いらかの波と くもの波
かさなる波の なかぞらを
たちばなかおる あさかぜに
高くおよぐや こいのぼり

① ひらけるひろき そのくちに
ふねをものまん さま見えて
ゆたかにふるう おひれには
ものにどうぞめ すがたあり





開設記念日がありました！

祝！30周年



ファミリーマイホーム開設三十周年をむかえまして高木理事長より開会のあいさつがありました。



利用者様、ご家族様、みなさまのおかげです。施設長の挨拶も気合が入っております。



本日は特別ゲストをお迎えしました。アニマルイベント企画のみなさんです。



可愛らしいゲストに、みなさんメロメロです。黄色い声援が響き、まるでアイドルコンサートみたいです。



こちらのワンちゃんは見事な輪くぐりを披露してくれました。プレッシャーにも負けない強メンタル。



このお猿さんがまた可愛いのです。少し緊張していたみたいでしたが頑張っていました。



ご主人を見つめる真っすぐな瞳。なんて可愛いワンちゃんなのでしょう。



犬猿の仲とはよく言ったもので・・・



このお猿さんはみなさんの熱い視線を浴びてちょっと緊張していたようです。



緊張のなか、なんとか玉乗りを成功させたお猿さん。兄貴分？のお猿さんに抱擁を受けて涙目に。



バッチリカメラ視線のお三人。ワンちゃんの癒し効果は絶大ですね。



ワンちゃん大好きとおっしゃっていた君子さん。手慣れた感じであやします。



ナデナデがやめられない赫子さん。撫でられるほうも撫でるほうも気持ちいいんです。



猫ちゃんも好きだけど、やっぱりワンちゃんが好き。と、フミさん



このワンちゃんの可愛らしさは格別でした。モフモフで抱き着いたら放したくないのです。



八重子さんのあやしかたが上手だったようで、興奮していたワンちゃんもトロ～ン・・・



みなさんのハートをしっかりと驚掴みしたワンちゃんたち。動物の力は偉大ですね。



ありがとうございました。割れんばかりの拍手喝采があがりました。またお待ちしておりますよ。



お昼に祝杯をあげました。



みなさんのとびっきりの笑顔をお届けしま



三千ワールド食べもの放浪記

～ こどもの日に思う息子の成長編 ～

五月五日は『こどもの日』澄んだ空に鯉のぼりが泳ぐ光景を見ると子供の頃の懐かしい気持ちが蘇ります。皆さんの思い出はなんですか？定番の食べ物といえば柏餅ですね。柏の葉は、新芽が出るまで古い葉が落ちないことから『家系が絶えない』『子孫繁栄』の象徴とされ縁起がいいと言われています。地域や家庭の味で味噌とあんこで分けられると思いますが皆さんの好みは何か？筆者はみそとあんこの食べ比べが好きです！（笑）小学生の頃、商店街の和菓子屋さん（立花屋）へ柏餅を買いに行くのが楽しみでした。あの頃の商店街の賑わい今も忘れられないです。大型スーパーが主流になり商店街は思い出になってしまいました。今度、懐かしの商店街巡りの記事を書きたいと思うのでご期待くださいね！

『こどもの日』今は自分自身が親となり、もうすぐ4歳になる息子の成長を喜ぶ日になりました。こどもの日を前に今年も兜をかざりました。息子も「僕の兜！」と目をキラキラさせて興奮気味でした。まだ”勇ましさ”や”武士の心”なんてわからなくても、兜の持つ凛々しさや力強さは、ちゃんと子供の心にも響くようです。振り返れば息子もこの一年で驚くほど成長しました。小さな手でスプーンを上手に持って一生懸命に食べている姿を見ていると三歳の息子が『みてんじゃねーよ！』最近のお気に入りのアニメ【ヤンキーハムスター】に影響を受け言葉が乱暴です…笑（髪型がリーゼントやモヒカンなどのハムスターが登場するギャグアニメ。）父としてしっかりと“しつけ”をしないといけないと思い、父『そんな、不良みたいな口の利き方、おやめなさい!!』とセイラ・マス（機動戦士ガンダムより）のセリフでピシャリと諭します。自分自身子供の頃、両親や祖母祖父に、じーっと食べているところを見られるのが嫌で仕方がなかったのですが親になったらその気持ちがやっとわかりました。食べることは生きること。自分で食べる力がついてきた息子の姿に心も体も着実に育っているのだと実感します。食卓は成長を一番近くで感じられる場所なかもしれません。嫌かも知れないけど息子にはしばらく食べる姿を見させてね！と伝えておきました。子供に教え、支えているつもりが実は一番育てられているのは自分の方なのかも知れない。．．．我慢すること、寄り添うこと、楽しむこと全部父親になって知ったことばかりです。山あり谷あり日々成長であります！

岡田ヨシハル





モニター発表会がありました！



毎年恒例のモニター発表会です。各モニターが一年間取り組んできた課題を発表します。



利用者のみなさんにより良いサービスを提供するため、様々な創意工夫をしてきました。



必ずしも計画通りにはいかないことも多々あります。改善を繰り返していくことが大切です。



時には思い切った改善も必要となります。柔軟な発想と臨機応変な対応が求められます。



輝かしい功績を残した上位三つのモニターには施設長から表彰されます。こちらは三位のショートステイモニター。



そして一位の食事モニターです。利用者のみなさんが食事を選択できる「選択食」の取り組みを進めてきました。おめでとうございます！



お花見に行ってきました！



お祭り会場でコスプレ？に初挑戦のカズコさん



今年の桜シーズンは、寒かったり暖かくなったりでしたが、何とかお花見することができました。



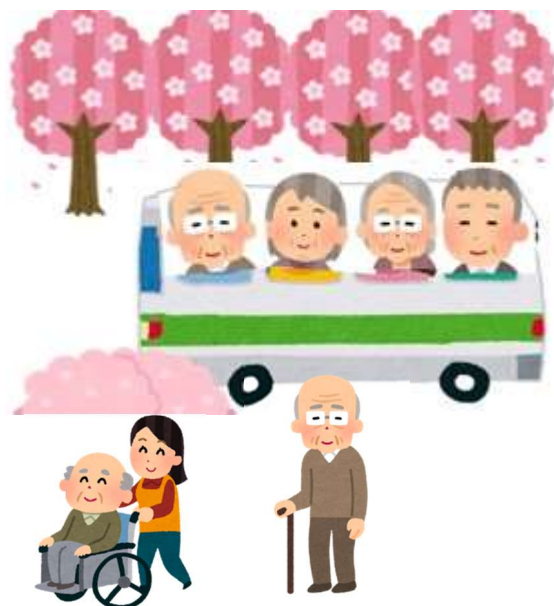
ホームの陽光桜も満開を迎えました。



新滝山街道の桜も満開でした。



アサヨさんは美しい光景を目にして
「夢にぼたもち・・・」とポツリ。

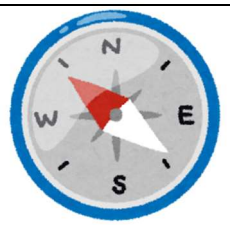


お花見期間中、天気恵まれなかった方たちは車中からのお花見ドライブとなりました。
少し残念ですが桜の美しさは変わりません。また来年！



中堅施設長が夢を語る！

～自分自身に責任のある約束を課すということ～



令和2年4月1日付でファミリーマイホームの施設長を拝命してから早5年となり、自分自身でも「新米」という肩書に甘んじることはできないと思い、令和7年度より私が担当するコーナーのタイトルを変更させていただきました。新タイトルは上記の通り『中堅施設長が夢を語る！』です。

敢えて「中堅」という肩書を入れたのは、「新人(新米)」⇒「中堅」⇒「ベテラン」の枠組みを作り、5年ずつ自分自身の理想の施設長像に近づけるよう計画を立て、その達成のために努力していくためです。そして「夢を語る」ということ。ここでいう「夢」とは、ファミリーマイホームの施設長としての「夢」であり、「夢」は「理想」と置き換え、このコーナーで私自身や職員の想いを発信していきたいと考えております。

そもそもなぜ「夢・理想」を語ろうと考えたのか。

一つ目の理由は、私自身の役職と関係があります。私は現在特別養護老人ホームファミリーマイホームの施設長であり、併設しているファミリーマイホームデイサービスセンターのセンター長でもあります。また、ファミリーマイホームを運営する社会福祉法人清心福祉会の高齢者福祉施設事業部門の統括責任者も兼務しております。そのため、私自身が様々な事業方針を決定する立場にあり、一つ一つの判断がその事項に大きく影響してしまうということです。私が周囲に助言や提言をする機会が増えていく一方、私への助言や提言、ましては反対意見を述べてくれる職員が少なくなっている現状をしっかりと認識しておく必要があります。私自身の「夢・理想」をこのような形で表現することで、自身の思考や方向性が偏っていないか、現在の社会情勢に合っているのかななどを精査するとともに、他者からの助言・提言・指摘などを受ける機会を設定しようと感じたからです。

二つ目の理由は、「夢・理想」を少しでも(一つでも)実現していきたい(近づきたい)と考えているからです。「夢」は叶えるものです。「叶」える(かなえる)という漢字は、「口」に「十」と書きます。十回ぐらいいは口にして話さないと夢は叶わないということの由来なのでしょう。しかし、10回どころか100回口に出しても実現しないものも多い。そもそも、夢を語るだけで夢が叶うとしたら、それは「夢・理想」ではないのかもしれませんが。このコーナーのタイトルは、「夢を語る」にしましたが、どちらかというと読者の皆様に対する「夢・理想」を追いかけるための決意表明であったり、コミットメント(commitment)＝「責任のある約束・公約」に近いイメージです。皆様に対し、責任のある約束を自分自身に課すこと、そして夢・理想を叶えるための手段・方法などについてもこの場で説明できるようにしていきたいと考えております。



前置きが長くなりましたが、私の「夢・理想」をお話しいたします。私の夢は『あなたにとって、ファミリーマイホームという施設があって良かった！』と心から感じていただくことです。特別養護老人ホームは、介護を必要とされる原則 65 歳以上の高齢者が利用できる施設です。社会や利用する方々から必要とされる施設ですが、心から望んで利用する方は少ないはずです。なぜなら誰しもが、自分自身が介護を必要とする状態になることを望んでいないからです。

そのため、国を挙げて健康的に生活できる期間を示す「健康寿命」を少しでも延ばすために、生活習慣病・認知症などの予防に向けた政策が進められています。「健康寿命」の 2022 年の推計で男性が 72.57 歳、女性が 75.45 歳となっております。2023 年の「平均寿命」は、男性 81.09 年、女性 87.14 年ですので、男性は $81.09 - 72.57 = 8.52$ 年、女性は $87.14 - 75.45 = 11.69$ 年が、人生を全うするまでの間、何かしらの支援や介護を受ける必要があるという統計が出ております。



その支援や介護を受ける人生の最期までの支援を私たちは担わせていただいております。そのような背景を念頭に置きつつ、長い年数を経てこれ、経験に基づいた知恵のある方々に対する尊敬の念から、利用者一人ひとりの満足を追求し、そして大変な時代を生きてこれた方々の人生で大切な時を、穏やかに自分らしく暮らせる援助をさせていただきたいのです。



様々な葛藤を乗り越え（または葛藤の最中にありながら）ファミリーマイホームを利用されていくなかで、利用者ご本人やご家族などから「ファミリーマイホームという施設があって助かった」と感じていただくことはあっても、「あって良かった」と心から必要とされ認知していただくためには、高い次元での信頼関係の構築やその継続が欠かせません。それを一部の方々だけではなく、全ての利用者やご家族、地域の方々や関係者の「あなたにとって」というファミリーマイホームに関わる全領域を対象にすると、なかなか実現が困難な、高い目標設定 = 「夢・理想」となるわけです。

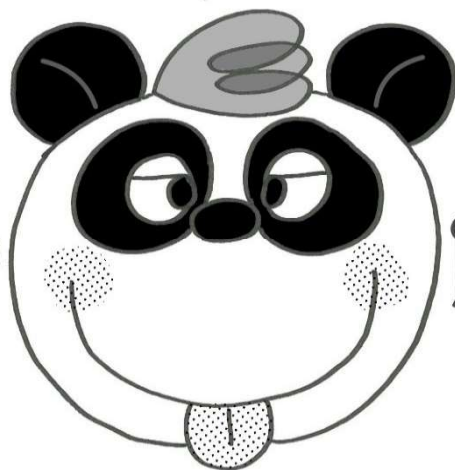
そして、この「夢・理想」を実現するために「利用者満足」を追求していくことはもちろんですが、「職員満足」を犠牲にさせないということも併せて叶えていきたいと考えております。利用者満足を追求するあまり、職員が疲弊し退職してしまつては意味がありません。よく言われるブラック企業型の施設運営に陥ってしまいます。しかし、「職員満足」を優先して、業務水準(量や質)を低下させてしまうと、例えば行わなければいけない介護サービスの提供を怠ったり、不適切な支援やケアに繋がりがかねせん。そのため、「利用者満足」と「職員満足」の双方を充実させるということは、先々を見通しながら「利用者」「職員」双方の声を聴き、現在起きていることを的確に把握し、戦略を練りそれを実践していく経営バランスがとても重要なのです。



私には、まだそのようなバランス感覚が足りていません。また自身の業務に追われ、「利用者」「職員」双方の声も十分に聴くことができおりません。しかし、私が語った「夢・理想」を叶えるために、一歩ずつ歩みを止めずに努力してまいります。時には、よろけたりふらついたりすることもあるかもしれませんが、その時は皆様にもお支えいただけると、私の身体も心も楽になりますので是非よろしく願います。

これからも、私の夢にお付き合いいただけると幸いです。

パンダ!
PANDA!



パンダ?
PANDA?



タイトル 「天使と悪魔」



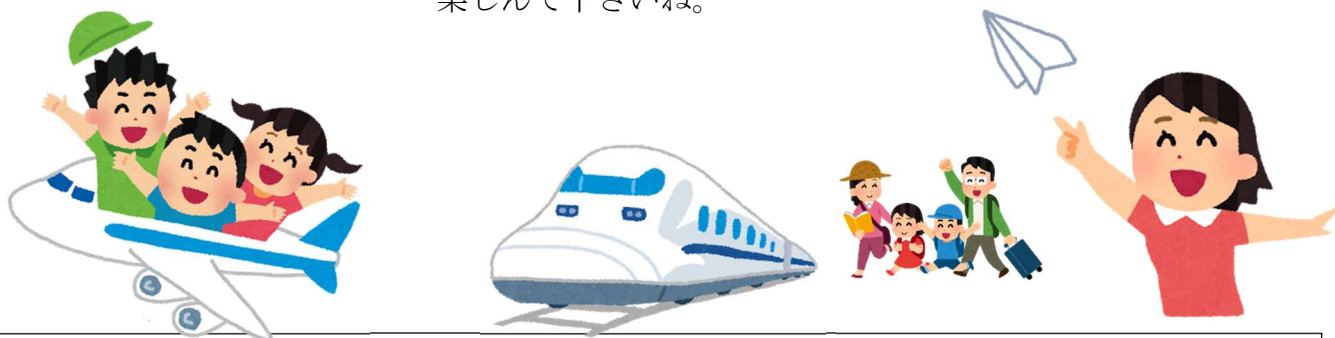
編集後記

五月に入りますと、もう春というより初夏の空気が漂います。四月の後半には肌寒い日がありましたが、天気予報をみるかぎり、もう上着は必要無さそうです。巷ではゴールデンウィークに〇〇に行くなどと楽しそうな話題でにぎわっております。一年の中で最も過ごしやすい時期ですので、思う存分楽しんで下さいね。

「 開設記念日 」 : ファミリーマイホームは開設三十周年を迎えました。はたして三十年前、私はどこで何をしていたのでしょうか？と考えさせられます。三十年という年月は色々と考えさせられますね。これからもよろしくお願いいたします。

「 モニター発表会 」 : モニターという言葉は「発信」、「品質」、「意見を述べる」「観察」などの意味があります。ファミリーマイホームでは食事・排泄・入浴をはじめとする様々なモニターが、みなさんの生活の向上のためにモニタリングをしています。

「 三千ワールド 」 : 子育てをしながら自らも親として、人として成長していくのですね。長いようであつという間の子育て。貴重な育メン期間を楽しんで下さいね。



発行人 田代コーヤ
アドバイザー 田代コーヤ
編集長 荒井ケイゴ
写真 コーヤ田代
荒井ケイゴ

執筆者 田代コーヤ
岡田ヨシハル
ヒルマ

イラスト マツ泰大



令和7年5月の予定



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				レク体操 あきる台回診 1、3階 am 居酒屋	できるかな クラブ 菖蒲湯	菖蒲湯
4	5	6	7	8	9	10
利用者懇談会 書道クラブ	レク体操 菖蒲湯	高幡台歯科 診療所 am あ きる台回診 2階 pm (休診)	高幡台歯科 診療所 am	レク体操 あきる台回診 1,3階 am	できるかな クラブ	
11	12	13	14	15	16	17
母の日 	レク体操	高幡台歯科 診療所 am あきる台回 診 2階 pm	高幡台歯科 診療所 am モニター発 表会	レク体操 あきる台回診 1,3階 am	できるかな クラブ 春のバス ハイク①	
18	19	20	21	22	23	24
誕生日会 	レク体操 職員健康 診断	高幡台歯科 診療所 am あきる台回診 2階 pm	高幡台歯科 診療所 am	レク体操 あきる台回診 1,3階 am (休診)	できるかな クラブ	
25	26	27	28	29	30	31
	レク体操 利用者健康 診断	高幡台歯科 診療所 am	高幡台歯科 診療所 am	レク体操 あきる台回診 1,3階 am	できるかな クラブ 春のバス ハイク②	